

I 第52週の発生動向 (2011/12/26~2012/1/1)

1. インフルエンザについては、定点当たり報告数が、1.0を上回り増加傾向にあります。
 詳細については、**V県内インフルエンザ情報**をご覧ください。
2. 流行性耳下腺炎については、上十三保健所管内において、第48週から**警報**が継続しています。

II 第52週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	2	0.1	22	1.5	30	2.1	3	0.4	32	3.6	1	0.2	90	1.4	19			2	0.2
小児科 (74) RSウイルス感染症	10	1.1	7	0.8			1	0.2	5	0.8			32	0.8	-4			10	1.3
小児科 (75) 咽頭結膜熱	2	0.2					2	0.4					4	0.1	-3			2	0.3
小児科 (76) A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	13	1.4	9	1.0	6	0.7			7	1.2	1	0.3	36	0.9	-34			13	1.6
小児科 (77) 感染性胃腸炎	64	7.1	27	3.0	28	3.1	9	1.8	42	7.0	6	1.5	176	4.2	-131	5	5.0	59	7.4
小児科 (78) 水痘	18	2.0	16	1.8	11	1.2	7	1.4	7	1.2	5	1.3	64	1.5	-24			18	2.3
小児科 (79) 手足口病					3	0.3			1	0.2			4	0.1	1				
小児科 (80) 伝染性紅斑									1	0.2			1	0.0	-1				
小児科 (81) 突発性発しん	4	0.4	1	0.1	2	0.2			1	0.2	1	0.3	9	0.2	-1			4	0.5
小児科 (82) 百日咳														0					
小児科 (83) ヘルパンギーナ	1	0.1					1	0.2					2	0.0	2			1	0.1
小児科 (84) 流行性耳下腺炎	9	1.0	3	0.3	24	2.7			16	2.7	1	0.3	53	1.3	-14	3	3.0	6	0.8
眼科 (86) 急性出血性結膜炎														0					
眼科 (87) 流行性角結膜炎					1	0.5	2	2.0					3	0.3	-2				
眼科 (92) クラミジア肺炎														0					
眼科 (93) 細菌性髄膜炎														0					
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎			5	5.0	12	12.0	1	1.0			1	1.0	19	3.2	2				
基幹 (96) 無菌性髄膜炎														0					

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：青森市2人、弘前1人、五所川原1人、むつ1人 (23年計：436人)

IV 病原体検出情報

今週は病原体報告は、ありませんでした。

感染症の窓

インフルエンザ (五類定点把握疾患)

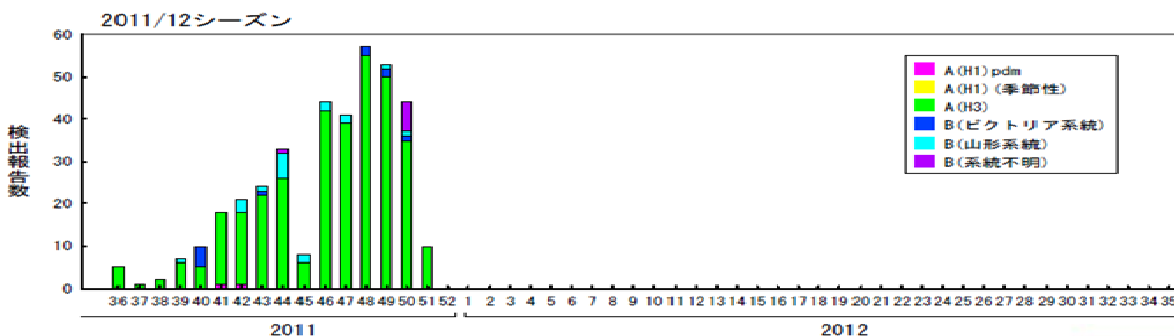
インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性呼吸器感染症です。

典型的な症状は、1~4日間の潜伏期間を経て、突然の発熱(38度以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などを呈し、鼻水・咳などの呼吸器症状が続きます。通常は1週間前後の経過で軽快しますが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴です。

主な感染経路は、くしゃみ、咳、会話等、飛沫感染で、他に接触感染もあると言われています。飛沫感染対策としての咳エチケット、接触感染対策としての手洗いなどが重要です。予防の基本はインフルエンザワクチンの接種です

2009年4月に発生した新型インフルエンザは、2011年4月以降は、他の季節性インフルエンザと同様の対策になりました。(参考 IDWR 第48週週報)

今シーズンのインフルエンザは、AH3亜型の報告が多くなっています(図)。図中のA(H1)pdmは、2009年の新型インフルエンザウイルスです。



☆咳エチケット☆
 咳・くしゃみが出たら
 ・マスクの着用
 ・ティッシュなどで鼻、口を押さえる
 ・他の人から顔をそむけて1m以上離れる

図 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告

V 県内インフルエンザ情報

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数

週	49	50	51	52
保健所名				
東地方				
弘前	9	22	30	22
八戸	1	4	8	30
五所川原		1	5	3
上十三		1	28	32
むつ				1
青森市		2		2

A型（迅速診断キットによる型別です）

週	49	50	51	52
保健所名				
東地方				
弘前	9	21	30	22
八戸	1	4	8	30
五所川原				1
上十三		1	26	31
むつ				1
青森市		2		2

B型（迅速診断キットによる型別です）

週	49	50	51	52
保健所名				
東地方				
弘前		1		
八戸				
五所川原		1	4	2
上十三				
むつ				
青森市				

年齢区分別

週	49	50	51	52
～5ヶ月				1
～11ヶ月				1
1歳	1		1	1
2歳			2	3
3歳			6	2
4歳		2	4	9
5歳		3	3	4
6歳		1	1	3
7歳	1	3	3	5
8歳		2	7	8
9歳	1	3	1	2
10～14歳	5	5	20	18
15～19歳		2	6	4
20～29歳		1	3	5
30～39歳		5	3	12
40～49歳	2	2	7	3
50～59歳			2	3
60～69歳		1		3
70～79歳			1	
80歳以上			1	3

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です）単位：人

2011年第33週～第51週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		腸管出血性大腸菌感染症1人				
34	H23.8.22 ~ H23.8.28		腸管出血性大腸菌感染症1人 細菌性赤痢2人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
35	H23.8.29 ~ H23.9.4		後天性免疫不全症候群1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
36	H23.9.5 ~ H23.9.11						
37	H23.9.12 ~ H23.9.18						アメーバ赤痢1人
38	H23.9.19 ~ H23.9.25			梅毒1人			
39	H23.9.26 ~ H23.10.2						
40	H23.10.3 ~ H23.10.9						
41	H23.10.10 ~ H23.10.16		破傷風1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		つつが虫病2人 急性脳炎1人	
42	H23.10.17 ~ H23.10.23						
43	H23.10.24 ~ H23.10.30			破傷風1人			
44	H23.10.31 ~ H23.11.6						
45	H23.11.7 ~ H23.11.13					つつが虫病2人	
46	H23.11.14 ~ H23.11.20						
47	H23.11.21 ~ H23.11.27		つつが虫病1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
48	H23.11.28 ~ H23.12.4						
49	H23.12.5 ~ H23.12.11						
50	H23.12.12 ~ H23.12.18			レジオネラ症1人			
51	H23.12.19 ~ H23.12.25						

VII 結核（二類全数把握疾患）

2011年第33週～第51週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		1		1		1
34	H23.8.22 ~ H23.8.28			7		3	2
35	H23.8.29 ~ H23.9.4		1		4	1	
36	H23.9.5 ~ H23.9.11	2	6	1	3	1	2
37	H23.9.12 ~ H23.9.18	1	1	3		1	
38	H23.9.19 ~ H23.9.25	2		2			
39	H23.9.26 ~ H23.10.2	7		3	1	1	1
40	H23.10.3 ~ H23.10.9	3	1	3		4	
41	H23.10.10 ~ H23.10.16	1	3	2	1	3	
42	H23.10.17 ~ H23.10.23	3	2				1
43	H23.10.24 ~ H23.10.30	1	1	2		1	
44	H23.10.31 ~ H23.11.6	1		4		1	
45	H23.11.7 ~ H23.11.13	1	1	3	1		1
46	H23.11.14 ~ H23.11.20	1	3		1	1	3
47	H23.11.21 ~ H23.11.27	1	1	4	1	2	
48	H23.11.28 ~ H23.12.4	1	2	10		3	
49	H23.12.5 ~ H23.12.11	2	1	4	3		
50	H23.12.12 ~ H23.12.18	3	1	10	2		
51	H23.12.19 ~ H23.12.25	3	1		1		

VIII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

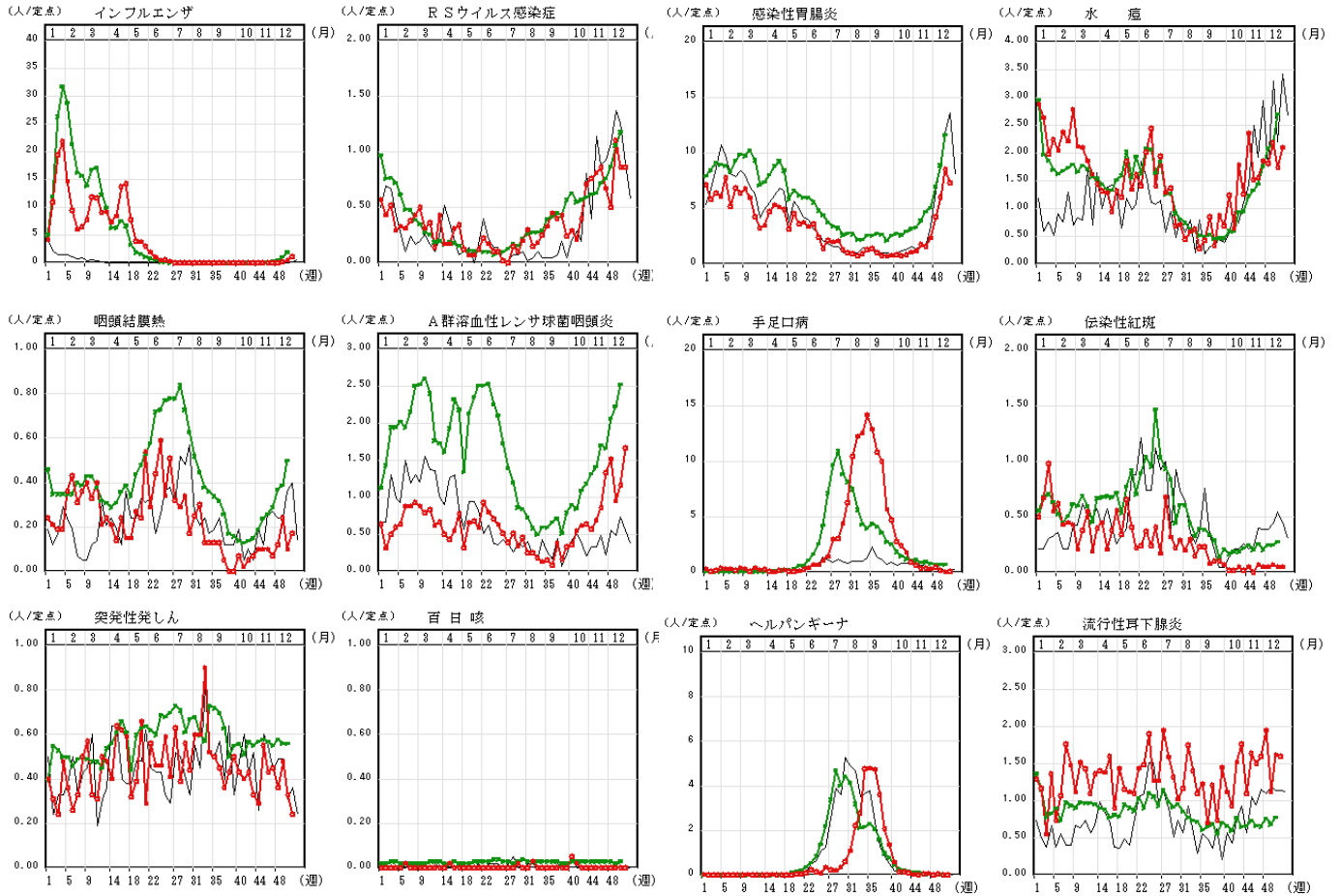
2012年1月4日18時集計速報値

	二類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポリオス症
全国	1	30344	11	291	3877	22	22	54	176	15	13	1	2	10	422	103	176	9	2	6
青森県	0	433	0	2	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0
	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん
全国	75	8	3	798	26	793	239	245	8	129	191	1441	66	12	1	809	111	68	368	432
青森県	0	0	0	3	0	2	0	3	0	1	2	4	0	0	0	6	4	1	0	0

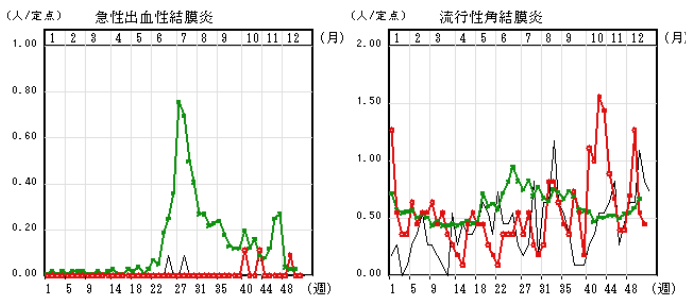
グラフの説明 ○—○は 2011 年青森県、——は 2010 年青森県、○—○は 2011 年全国

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2011 年第 51 週



X 眼科定点把握疾患週別推移 2011 年第 51 週



XI 基幹定点把握疾患週別推移 2011 年第 51 週

